

会 議 録

会議の名称	第26期東村山市青少年委員の定例会（第6回）				
開催日時	平成27年9月3日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者及び欠席者	<p>●出席者：</p> <p>（委員） 藤澤功明会長・森田明美副会長・池田みのり委員・小島恵子委員・佐々木悟子委員・鈴木史秋委員・多田啓子委員・長谷川篤人委員・飛澤誠委員・宮崎真吾委員・宮崎貴幸委員・横田昇委員・横山大吾委員</p> <p>（市事務局） 社会教育課：平島課長・朝岡係長・天野</p> <p>●欠席者：</p> <p>（委員） 木村一樹委員・児玉光昭委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長挨拶 2. 社会教育課長挨拶 3. 協議事項 4. 活動報告 5. 事務連絡 6. 事務局より 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 朝岡・天野 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<p>1. 青少年委員会長 挨拶</p> <p>みなさん、こんばんは。なぎさ体験塾に応援に行かれた委員のみなさんにおきましては、お疲れ様でした。無事に終わってよかったと思います。すぐれない天候が続いておりますが、育成塾も後半に入りましたので、各委員におかれましては、体調に気を付けていただいて、今後よろしく願います。</p> <p>2. 社会教育課長 挨拶</p> <p>こんばんは。なぎさ体験塾にご協力いただきまして、ありがとうございます。事故もなく無事に終えることができ、教育委員長も、とても良い事業ができたと話していました。また、青少対の子ども祭り等のお手伝いにもご参加よろしく願います。各事業へのご協力、ありがとうございます。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>平成27年度「輝け！東村山っ子育成塾」 司会：森田副会長 （1）第5回「バス研修」について</p>					

- 前回の定例会では、警戒レベルが4に上がった場合の代替案の行先として多摩動物園としていたが、警戒レベルも安定しているので、神奈川県立生命の星・地球博物館を行先としたい。しかし、万が一警戒レベルが上がった場合は、安全面を考慮して自粛とするのはいかがか。(異議なく了承された)
- 集合時間、集合場所、活動場所、持ち物、服装について確認する。
 - ・ほかに何か補足などあるか。
- ネッカチーフは、朝の集合時に配付する。
 - ・名札の配布については、空の名札ケースを厚木SAを出発した後に配付し、博物館内では、チケット入れとして使用する。
 - ・保護者の車の誘導係については、当日の打合せで決めたい。
- 育成塾全体の集合写真は、ガイダンスの終了後に行う。
 - ・館内の飲食可能な場所の確認を行う。
 - ・昼食やふりかえりを含めての班行動のため、見学順路、時間配分を各班でよく話し合って行動していただきたい。
- 当日は、ワークショップもあるので、各班ごとに自由に参加していただいて構わない。
 - ・博物館で用意されているクイズは、どうするか。
- クイズは各班で取り組むこととし、クイズの問題を各班ファイルに用意し、解答は各委員が管理することとしたい。
- 事務局
 - ・了解した。
 - 注意事項として、エレベーターの使用禁止、館内を走ることを徹底したい。
 - 博物館の周りには、草が多く、蚊がでることが予想されるが、虫よけスプレーな用意はどうか。
 - 虫よけスプレーを使用する場合は、周囲の迷惑にならないように、外でやるように声掛けをしていただきたい。

(2) 第6回「郷土体験①」について

- 内容としては、市内を散策しながら、写真を撮って、散策したコースを基に、すごろくを作ることとする。
 - ・日程表について説明する。
- 補足などはあるか。
- 各コースに主なスポットが8つあるが、実際にコースを回ってみて、よりよいスポットがあれば、変更しても構わない。
 - ・各班で製作したすごろくは、それ自体でもすごろくとして成立するが、6班分を合わせると市全体のすごろくとなる。
 - ・すごろくの各マスでの言葉、例えば、「～なので○回休む」などは、子どもが考えるが、すごろくのマス目や地図などの土台、学校や遊園地などの目印は委員で準備する。
- 総括すると、すごろくを作ることが目的なのではなく、市内散策が目的であり、午前は市内散策をし、午後はすごろく作りを行うという時間を考えると、土台は委員で作る。
 - ・各マスの言葉などをどのように書くかということをつめなければならない。
 - ・育成塾第7回「郷土体験②」では、午前中にすごろく作りの続きを行い、午後は作ったすごろくで遊ぶという流れとなる。
- 現在の6コースでは、市内全域を網羅されていないのではないか。
- 例えば、似たようなコースをまとめて、ほかの地域をコースに取り入れるということも検討したい。
- たっちゃん池コースの代わりに、富士見(美住)コースに変更し、淵の森コースの代わりに野火止コースに変更するのはいかがか。(異議なく了承された。)
- 各班にできるだけ2人以上参加できるように、実地踏査日を決めたいが、予定はいかがか。
 - ・多数決を採る。
 - ・多数決により、9月27日(日)としたい。市民センターに9時に集合ということで、当日、よろしくお願ひします。

司会：森田副会長

4. 活動報告

①平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾④

【日時】8月7日(金)8:15~16:00

【場所】いきいきプラザ、市役所本庁舎、北庁舎

- 議会や市長室を見学しに行く際、市長がお忙しい中、時間を作っていただき、子どもたちの質問に答えていただいたことに感謝している。可能であるならば、班ごとに市長と記念写真を撮影させていただけると、子どもたちにとってさらに記念になるのではないかと。
- 健康についての講話は内容がよかったが、もっとゆっくり話していただければ、子どもたちは、より理解しやすかったのではないかと。
- スライドが大人向けに作られているように思われた。
- 子どもたちは真剣に、赤ちゃんの抱っこ体験をしていた。妊婦体験については、妊婦の装具を身に付けて体験できるのは、装具の個数の都合上、代表者2名であり、そのほかの子どもたちは、その様子を見学するという方式ではあったものの、代表者以外の子どもたちは熱心に代表者を見ていた。
- 子どもたちが興味深そうに取り組んでいたのも、またこのような取り組みを行いたい、その際は、もっと長い時間をとって行いたい。
- AED講習では、救急車が来るまでの8分間の重要性が伝わったようだった。やらないと忘れてしまうので、2年に1回程度続けることができれば、活かしたものにつながるのではないかと。
- 1日全体のプログラムとして、充実したものであったが、各担当者がテキパキやって下さったり、異なるプログラムであったため、集中して取り組んでいた。
- 時間が短いため難しいかもしれないが、庁舎見学では、何をしているところかという部署ごとの説明を聞くことができればと思う。
- 事務局
 - ・今年度は、保育体験を行うことができず申し訳ない。来年度を考えると、感染症の予防という観点から、他の案を考えていかなければならない可能性もある。
 - ・今回のプログラムの中で、次回につなげていきたいというプログラムもできたが、機会があれば検討させていただきたい。
- 平日にも関わらず、協力ありがとうございます。子どもが市長の仕事を質問したり、教育長の教育委員会の説明も興味深そうに聞き、市役所の仕事の理解につながったのではないかと。
- 保育体験の代替案としては、大成功であったものの、内容が盛りだくさんだったため、もう少しゆとりをもたせたプログラムの方が、子どもたちにとっては理解しやすかったかもしれない。

②平成 27 年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会（第1回）

【日時】(1)役員会 7月21日(火)19:00~19:30

(2)理事会 7月21日(火)19:30~21:00

【場所】立川市子ども未来センター 2階202会議室

- 第1回目であるため、理事や役員の紹介が行われた。
- 研修が多摩地区だが、なかなか条件に合う研修会場が見つからないので、多摩地区関係者で、会場を探しているところである。
- 青少年委員会が、行政からなくなる事例もあるため、今後より一層活動の重要さが増している。

司会：森田副会長

5 事務連絡

- ・平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾⑤「バス研修」の出欠席を確認する。
- ・平成 27 年度 輝け！東村山っ子育成塾「郷土体験」実地踏査の出欠席を確認する。

6 事務局より

- ・なぎさ体験塾に協力いただいた委員の方々への御礼
- ・バス研修での実習生受け入れについて

以 上